

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月18日
事業名	道路維持運営事務事業（施設管理業務）	担当課・係名	建設課 道路整備係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	21
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要					
目的 (何のために)	町内19箇所に設置してある排水ポンプ、街路樹、側溝等排水施設についての適正な維持管理				
対象 (誰を・何を)	町内19箇所に設置してある排水ポンプ、街路樹、側溝等排水施設				
内容	町内19箇所に設置してある排水ポンプ、街路樹、側溝等排水施設について適正な維持管理を行うために、点検や管理、浚渫についての委託を行う				
根拠法令・条例等					
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	6,630	5,008	5,151
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	6,630	5,008	5,151
	職員人数 (概算職員数)	人			0.22
	人件費計 (b)	千円			1,348
総事業費 (a)+(b)	千円	6,630	5,008	6,499	
事業費内訳 H 25 年度	手数料：151千円 管理委託料：5,000千円				

3. 指標値の推移					
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① ポンプ委託数	箇所	19	19	19
	② 浚渫件数	件	13	9	4
活動指標 (活動量)	① ポンプ委託数	箇所	19	19	19
	② 浚渫量	m ³	26	10	9
成果指標 (達成度等)	① 委託完了数	箇所	19	19	19
	② 完了浚渫件数	件	13	9	4

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	町が管理している施設であり、施設の内容に応じて浚渫、伐採剪定などの適切な管理を行っている。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	直営でできることは直営で、外部発注で行うことは外部発注で、その状況に応じて適切に行っている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	目標とした成果は達成しているが、側溝等排水施設の浚渫については予算の関係で十分に答えられていない面もある。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	街路樹の管理については、剪定時期を考えた中で効率的な対応を行っている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	街路樹や側溝等排水施設の管理は、直営で対応できるものは対応し、外部発注するものについても、剪定時期等を考えた中で必要最低限の執行を行っている。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 施設の管理について、内容に応じ対応時期等を考えた中で、直営や外部発注など適切な執行により対応しているが、予算の関係で浚渫など対応しきれない面もある。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
予算面も考え、直営での対応、外部発注での対応を効率的に行っていく。
② 平成26年度に着手する事項
予算面も考え、直営での対応、外部発注での対応を効率的に行っていく。
③ その他（課題、調整事項等）
年度末において、側溝等排水施設の浚渫等について、予算面で対応しきれないことが想定される。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

限られた予算の中で、今まで以上に直営で出来ることは直営で行い、直営と外部発注を組み合わせ、出来る限り外部発注の作業を削減した対応を行っていく。
